

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 櫻護謨

コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 総務・資材・物流担当兼 総務部長 (氏名) 中野 伍朗

TEL 03-3466-2171

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,501	45.6	300	399.2	277	467.5	164	501.6
21年3月期第1四半期	1,718		60		48		27	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	16.39	
21年3月期第1四半期	2.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	10,321	2,816	27.3	280.34
21年3月期	10,849	2,717	25.0	270.41

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,816百万円 21年3月期 2,717百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		7.00	7.00
22年3月期 (予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期期末配当金の内訳 記念配当2円00銭を含む

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	3,372	0.4	162	6.9	106	24.3	58	21.6	5.77
通期	7,291	14.2	405	7.1	306	21.9	172	26.5	17.12

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他 をご覧下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
 以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	10,120,000株	21年3月期	10,120,000株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	71,691株	21年3月期	71,691株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	10,048,309株	21年3月期第1四半期	10,049,270株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報 をご覧下さい。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価の上昇、鉱工業生産、輸出などの増加により景気の底打ちの兆しが見えてきたものの、昨年来の世界的な金融危機の及ぼした影響は根強く、企業収益の低下、雇用情勢の悪化、設備投資の抑制、個人消費の低迷など引き続き厳しい状況で推移し、景気は未だ不安定で先行き不透明な状況であります。

このような状況のもとで当社グループといたしましては、新事業の展開、付加価値の高い製品の企画・開発、生産性の向上、金融収支の改善などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は25億1百万円（前年同期比45.6%増）、営業利益3億円（前年同期比399.2%増）、経常利益2億7千7百万円（前年同期比467.5%増）、四半期純利益1億6千4百万円（前年同期比501.6%増）となりました。

これを事業の種類別セグメントで見ますと、次のとおりであります。

・製造事業

消防・防災部門では、前期末から引き続き「安心実現のための緊急総合対策」として執行された平成20年度第一次補正予算の執行による防災資機材と消防ホースの販売増により大幅に前年同期実績を上回りました。航空・宇宙部門では、一部機種の先行調達により販売は前年同期実績を上回りました。工業用品・その他部門では、石油備蓄タンク用タンクシールや建機向けホースの販売は減少となりました。

その結果、売上高は23億9千1百万円（前年同期比49.6%増）となりました。

・不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、昨年来の金融危機の影響による個人消費の低迷により売上高は1億9百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報**(1) 資産、負債及び純資産の状況****資産**

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は63億9千7百万円（前連結会計年度末比5億5千8百万円減）となりました。これは主として、前連結会計年度末の売上債権の回収が進捗したこと、その回収金を仕入債務の支払及び借入金の返済に充当したことにより手許資金が減少したことによるものです。また、固定資産は39億2千4百万円（前連結会計年度末比3千万円増）となりました。これは、株式相場の上昇による投資有価証券の時価の改善と、火災保険の更新による保険積立金増加によるものです。

この結果、資産合計は103億2千1百万円（前連結会計年度末比5億2千7百万円減）となりました。

負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、48億5千8百万円（前連結会計年度末比4億6千4百万円減）となりました。これは主として、前連結会計年度末に集中した売上に対応する仕入債務の支払による減少と、短期借入金の減少によるものです。また、固定負債は26億4千6百万円（前連結会計年度末比1億6千2百万円減）となりました。これは、長期借入金の返済によるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ四半期純利益1億6千4百万円による増加と、配当金の支払7千万円による減少により28億1千6百万円（前連結会計年度末比9千9百万円増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1億4千万円減少の14億1千8百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2億7千7百万円、減価償却費5千4百万円、売上債権の減少額6億1千8百万円の資金の増加に対し、仕入債務の減少5億6千4百万円、利息の支払額2千1百万円、法人税等の支払額1億1千万円の資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出5千2百万円、火災保険料更新などその他支出1千9百万円により7千1百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短期借入金純額で3億4千2百万円の返済と配当金の支払7千万円により4億1千2百万円の資金の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、平成21年5月14日発表の第2四半期連結累計期間の売上高予想に対し進捗率75%程度で順調に推移しております。これは、第一次補正予算に係る防災資機材と消防ホースの販売増が当初予想に比べ大きく上回ったことによります。利益面においても、売上の増加に伴い営業利益、経常利益ともに現段階で第2四半期連結累計期間までの予想を上回る結果となっております。

現在、消防・防災部門及び航空・宇宙部門の受注動向など経営環境の見極めを行っておりますが、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は現時点では平成21年5月14日発表の業績予想とおりと致します。業績予想の修正については今後の見通しが固まり次第、適宜行う予定です。

4.その他

(1) 期中における子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第1四半期の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却費の算定は、年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定方法は、加味する加減算項目などを重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境や一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

以外の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,588,079	1,728,686
受取手形及び売掛金	2,520,324	3,139,170
商品及び製品	146,145	119,425
半製品	385,157	345,791
仕掛品	762,536	817,314
原材料及び貯蔵品	444,082	463,744
その他	633,666	408,128
貸倒引当金	82,766	66,928
流動資産合計	6,397,226	6,955,333
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,866,639	1,893,794
土地	1,301,027	1,301,027
その他(純額)	317,172	295,866
有形固定資産合計	3,484,840	3,490,688
無形固定資産		
	30,436	30,436
投資その他の資産		
投資有価証券	127,216	114,692
その他	536,799	513,032
貸倒引当金	254,672	255,152
投資その他の資産合計	409,343	372,572
固定資産合計	3,924,620	3,893,697
資産合計	10,321,846	10,849,031

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,053,837	1,618,440
短期借入金	1,420,000	1,530,000
1年内償還予定の社債	32,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	1,129,658	1,197,442
未払法人税等	178,163	116,065
賞与引当金	330,415	216,014
役員賞与引当金	11,751	48,000
その他	702,560	564,795
流動負債合計	4,858,384	5,322,758
固定負債		
社債	368,000	368,000
長期借入金	1,321,987	1,486,645
退職給付引当金	446,574	455,550
役員退職慰労引当金	177,951	173,853
その他	332,053	325,077
固定負債合計	2,646,566	2,809,125
負債合計	7,504,951	8,131,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	2,072,157	1,977,771
自己株式	26,727	26,727
株主資本合計	2,836,860	2,742,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,114	4,073
繰延ヘッジ損益	31,080	29,401
評価・換算差額等合計	19,965	25,327
純資産合計	2,816,895	2,717,147
負債純資産合計	10,321,846	10,849,031

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,718,362	2,501,403
売上原価	1,261,656	1,775,549
売上総利益	456,705	725,854
販売費及び一般管理費	396,449	425,074
営業利益	60,256	300,779
営業外収益		
受取利息	138	94
受取配当金	2,054	1,587
その他	13,452	5,472
営業外収益合計	15,644	7,155
営業外費用		
支払利息	23,453	21,328
社債利息	715	1,434
その他	2,787	7,403
営業外費用合計	26,956	30,166
経常利益	48,945	277,768
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,852	-
特別利益合計	2,852	-
特別損失		
固定資産除却損	-	262
特別損失合計	-	262
税金等調整前四半期純利益	51,797	277,505
法人税、住民税及び事業税	24,820	175,221
法人税等調整額	404	62,439
法人税等合計	24,415	112,781
四半期純利益	27,381	164,723

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	51,797	277,505
減価償却費	46,673	54,352
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,778	15,358
賞与引当金の増減額(は減少)	115,194	114,401
役員賞与引当金の増減額(は減少)	32,650	36,249
退職給付引当金の増減額(は減少)	14,635	8,975
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,232	4,098
受取利息及び受取配当金	2,054	1,682
支払利息	24,168	22,763
固定資産売却損益(は益)	-	262
売上債権の増減額(は増加)	497,788	618,846
たな卸資産の増減額(は増加)	21,036	8,354
仕入債務の増減額(は減少)	63,118	564,603
その他	53,798	30,453
小計	548,783	473,978
利息及び配当金の受取額	2,054	1,682
利息の支払額	23,453	21,328
法人税等の支払額	38,901	110,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	488,482	344,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,715	52,441
投資有価証券の取得による支出	299	787
貸付金の回収による収入	600	600
その他の支出	4,404	19,267
その他の収入	9,197	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	379	71,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	180,000	110,000
長期借入れによる収入	130,000	100,000
長期借入金の返済による支出	378,661	332,442
自己株式の取得による支出	121	-
配当金の支払額	50,249	70,338
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,031	412,780
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	369,830	140,606
現金及び現金同等物の期首残高	781,678	1,559,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,151,509	1,418,879

(4) 継続企業の前提に関する注記

前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間ともに該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間ともに後日提出予定の四半期報告書に記載致しますので、開示を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間ともに該当事項はありません。